

目次

アルコニックスについて

非鉄金属とはどういうものか？ 商社であり製造業？
アルコニックスならではの強みや独自のビジネスモデルについて



Business Model

3~13

アルコニックスの業績と見通し

直近の連結業績の推移および通期見通しについて



Performance Report

14~17

アルコニックスの中期経営計画

中期経営計画（2019年3月期～2021年3月期の3カ年計画）を通じて
アルコニックスが描く将来像と経営戦略について



Medium-term Management Plan

18~26

アルコニックスの株式状況

株主構成および配当金額予想について

※期末配当予想を従来の19円から上方修正

- 当中間期 **19**円 年間配当 【修正額（当期末）】
- 当期末（予想） **20**円 **39**円 **+1**円

【トピックス】株主優待制度を導入いたしました。

Stock Information

27~32

【参考資料①】非鉄金属を取り巻く環境

33~37

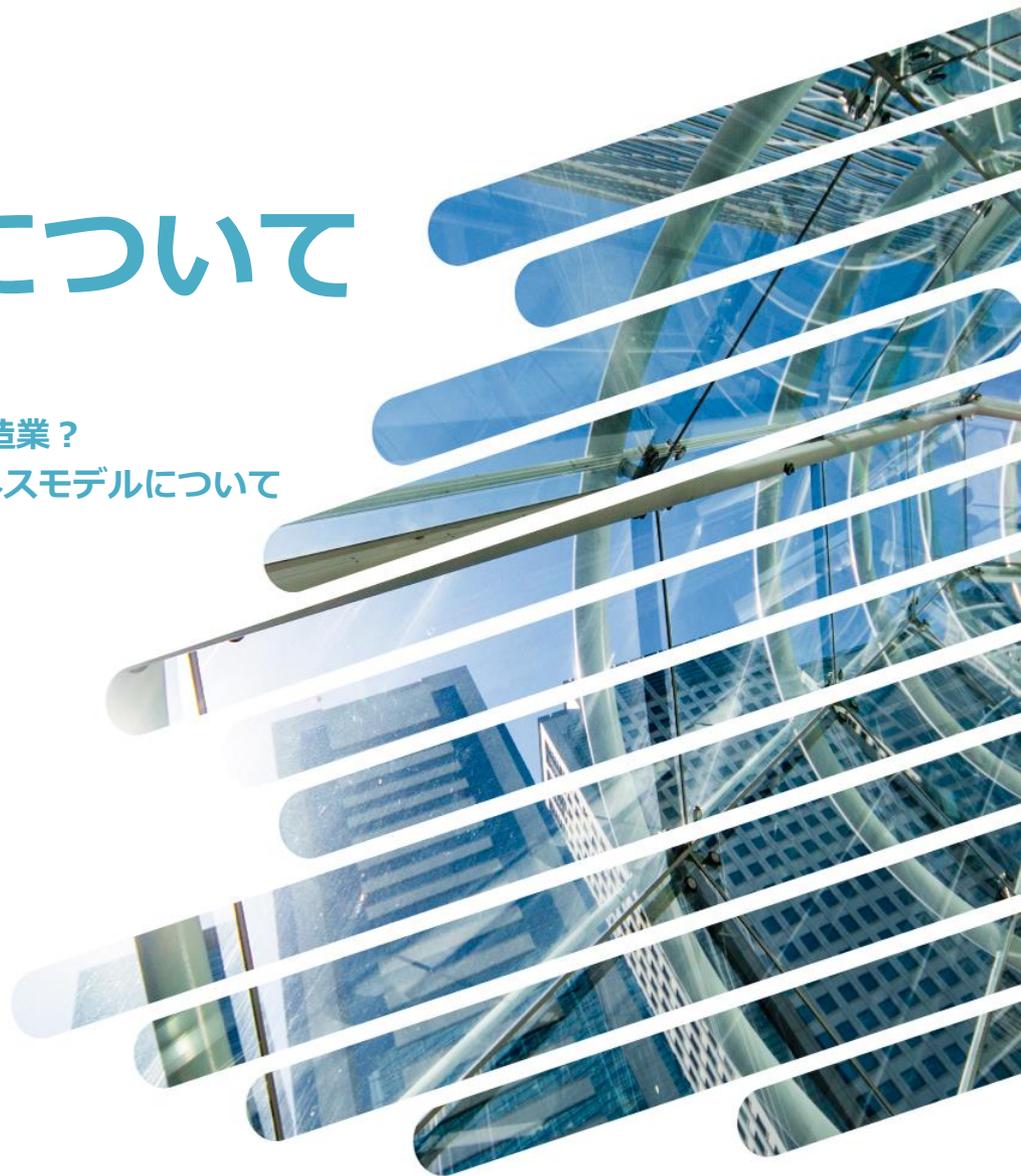
【参考資料②】IR NEWS

38

アルコニックスについて

事業概要

非鉄金属とはどういうものか？ 商社であり製造業？
アルコニックスならではの強みや独自のビジネスモデルについて



アルコニックスの概要

商社機能と製造業を融合する「総合企業」

商 号 アルコニックス株式会社
ALCONIX CORPORATION

創 業 1981年7月

MBOによる独立 2001年4月

資 本 金 2,958百万円

代 表 者 代表取締役社長 竹井 正人
(2018年6月20日に就任。
なお、正木 英逸は同日付けで代表取締役会長に就任)

従 業 員 数 連結1,424名、単体137名 (2018年3月期)

グ ル ー プ 会 社 37社 (国内14社 海外23社) (2018年12月末現在)

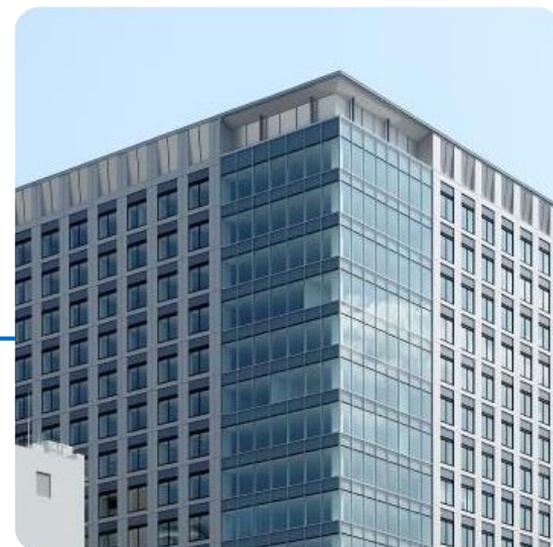
連 結 売 上 高 2,479億円 (2018年3月期)

連 結 経 常 利 益 79億円 (2018年3月期)



東京本社

東京都千代田区永田町2-11-1
山王パークタワー12F



大阪支店

大阪市中央区北浜2-6-18
淀屋橋スクエア14F

アルコニックスの名前の由来

鉄にはない優れた特性を持つ「非鉄金属」が社名の由来。



アルコニックグループを語る3つのキーワード

1

商社機能と製造業を融合する有機的な
ビジネスミックス

商社流通

電子機能材

アルミ銅

製造

装置材料

金属加工



2

M&A、
事業投資による
事業拡大

M&A

17件

事業投資

30社

3

強固な
海外ネット
ワーク

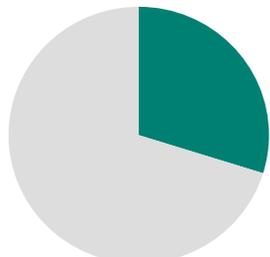
海外現地法人

12法人

15拠点

電子機能材

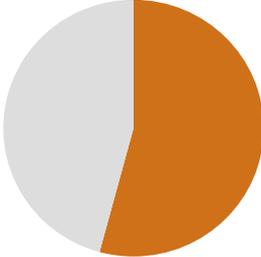
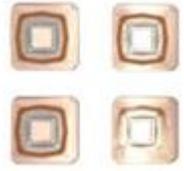
(2018年3月末現在)

	グループ取扱品	最終製品	主な展開地域
<p>売上高占有率</p>  <p>29.8%</p>	 チタンコイル  化学物半導体等 電子材料	 自動車 (各種モーター用 磁石材、電池材料)  タブレット端末、 スマートフォン (電子材料他)	国内、北米、 欧州、中国、 アジア
<p>セグメント利益占有率</p> <p>23.0%</p>	 レアアース細片  チタンスポンジ  レアアース化合物  レアアースインゴット	 液晶パネル(LCD)  風力発電(タービン)  チタン製品(熱交換機)  窓材(コーティング剤)	



アルミ銅

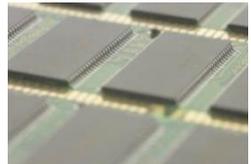
(2018年3月末現在)

	グループ取扱品	最終製品	主な展開地域
<p>売上高占有率</p>  <p>54.2%</p> <p>セグメント利益占有率</p> <p>13.0%</p>	 <p>アルミコイル</p>  <p>各種伸銅品</p>  <p>メタルスクラップ</p>  <p>アルミ合金塊</p>  <p>黄銅棒</p>	 <p>飛行機 (構造部材)</p>  <p>バイク (アルミフレーム等)</p>  <p>自動車(ボディ)</p>  <p>エアコン(空調用銅管)</p>  <p>リードフレーム (半導体用)</p>  <p>アルミ缶</p>	<p>国内、中国、アジア、欧州、中南米</p> <p>連結子会社</p> <p>アルコニックス三伸、林金属、アルコニックス・三高、平和金属、アルミ銅センター、海外法人</p>



装置材料

(2018年3月末現在)

	グループ取扱品	最終製品 / 最終マーケット	主な展開地域
<p>売上高占有率</p>  <p>8.0%</p> <p>セグメント利益占有率</p> <p>10.5%</p>	 <p>めっき材料</p>  <p>溶接棒</p>  <p>非破壊検査 (装置)</p>  <p>非破壊検査 (浸透探傷剤)</p>	 <p>自動車 (めっき、製造用金型肉盛 溶接、非破壊検査)</p>  <p>半導体 (プリントめっき)</p>  <p>発電所、プラント (非破壊検査)</p>  <p>鉄鋼 (マーキング)</p>  <p>建材 (めっき)</p>	<p>国内、中国、 北米、欧州、 アジア</p> <p>連結子会社</p> <p>UNIVERTICAL、 東海溶業、 マークテック</p>




【めっき素材製造】 **UNIVERTICAL**




【非破壊検査装置製造
マーキング装置製造】 **マークテック**

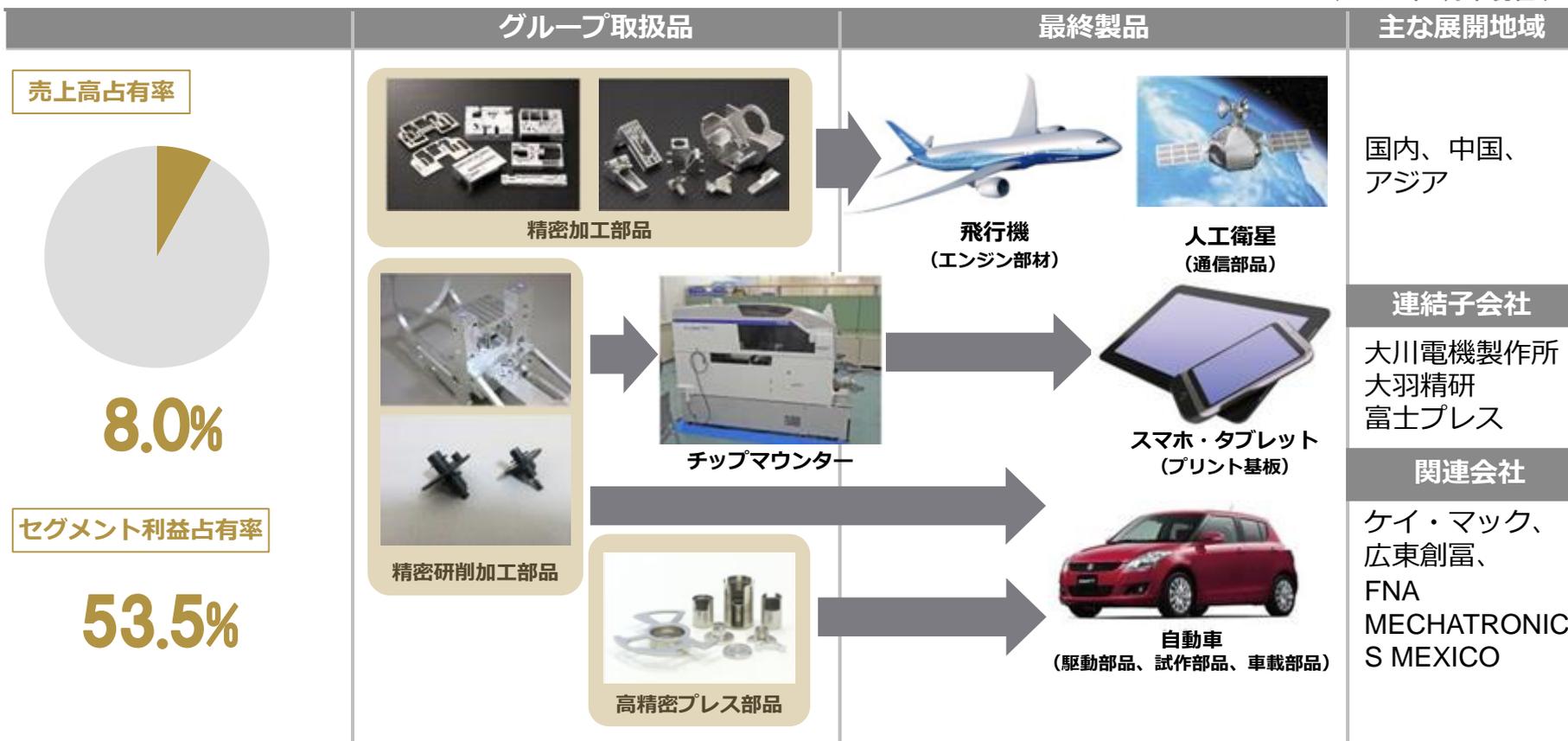



【溶接材料製造・
溶射施工】 **東海溶業**

※ 2018年12月に東北化工、並びに2019年2月に富士カーボン製造所を連結子会社化。2製造子会社は来期より当事業実績に本格的な貢献を予定。

金属加工

(2018年3月末現在)



【持分法適用関連会社】



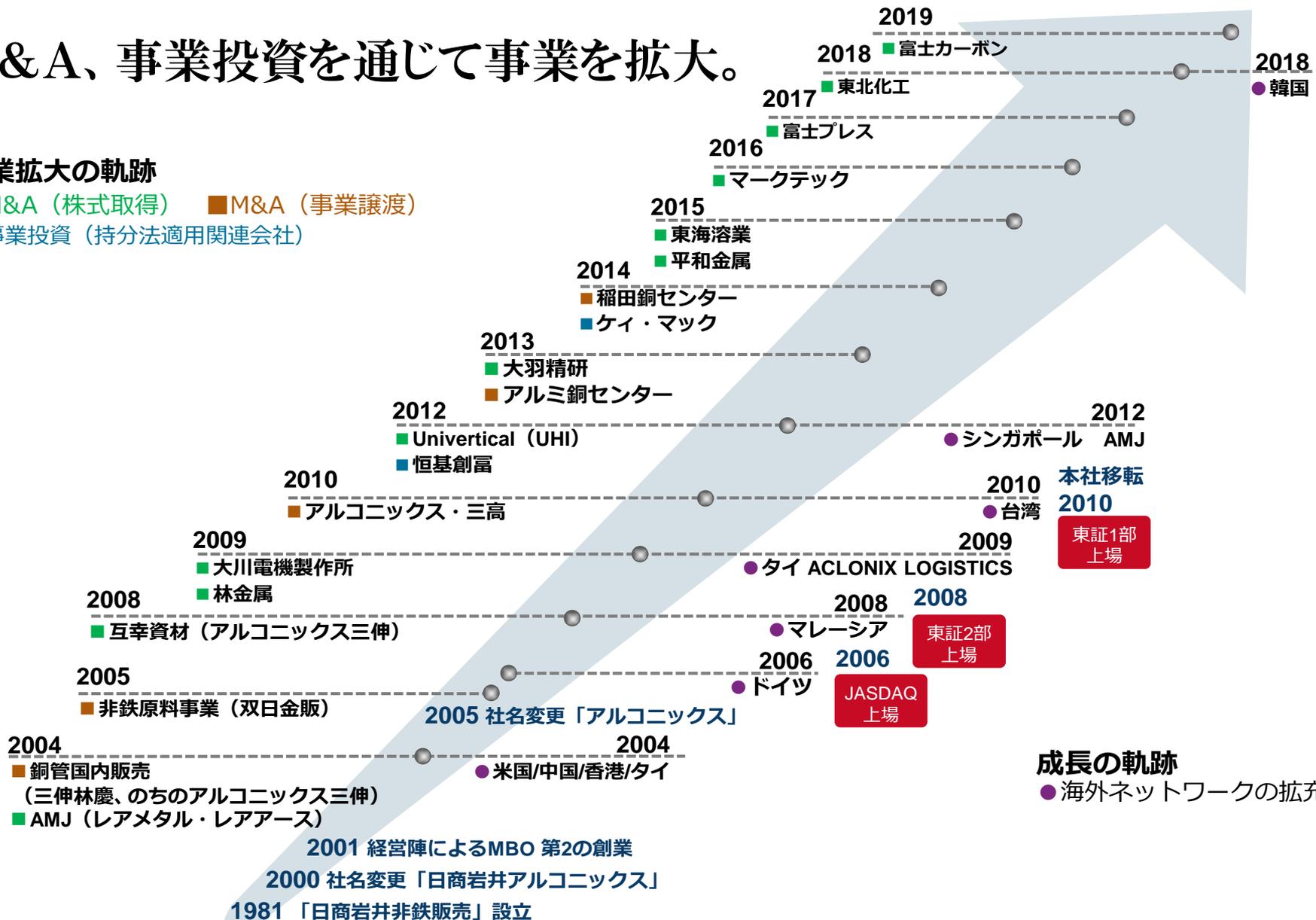
広東創富
FNA MECHATRONICS
MEXICO

事業拡大の軌跡

M&A、事業投資を通じて事業を拡大。

事業拡大の軌跡

- M&A (株式取得)
- M&A (事業譲渡)
- 事業投資 (持分法適用関連会社)

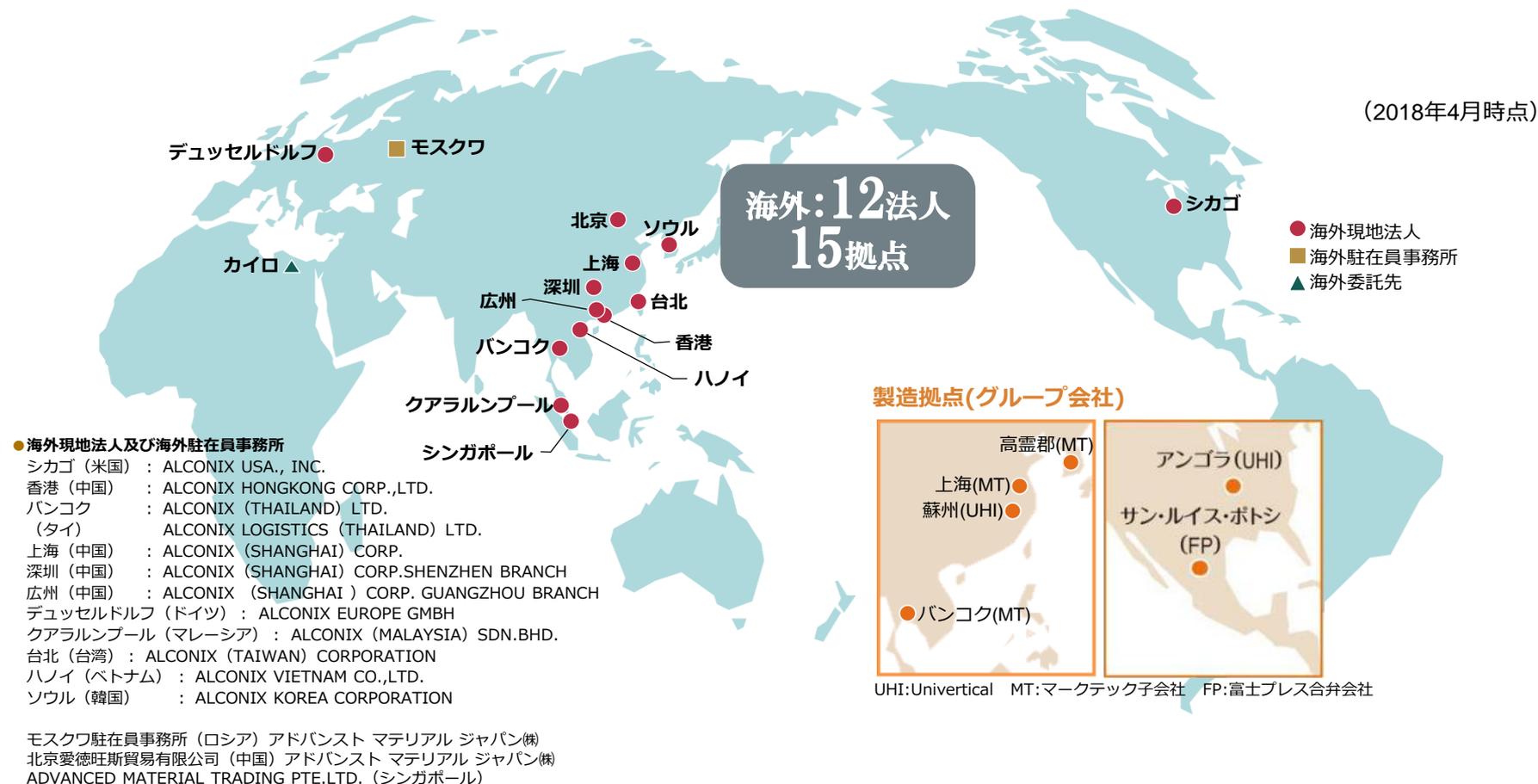


成長の軌跡

- 海外ネットワークの拡充

強固な海外ネットワーク

採算性を重視し、アルコニックグループ独自の海外ネットワークを展開



アルコニックスグループの主要取扱品 (構成比率)

※2018年3月期末を基準 (金額ベース)

めっき素材、精密研削加工部品、
精密切削加工部品、溶接材料、
非破壊検査装置、マーキング装置、
金属プレス部品 等



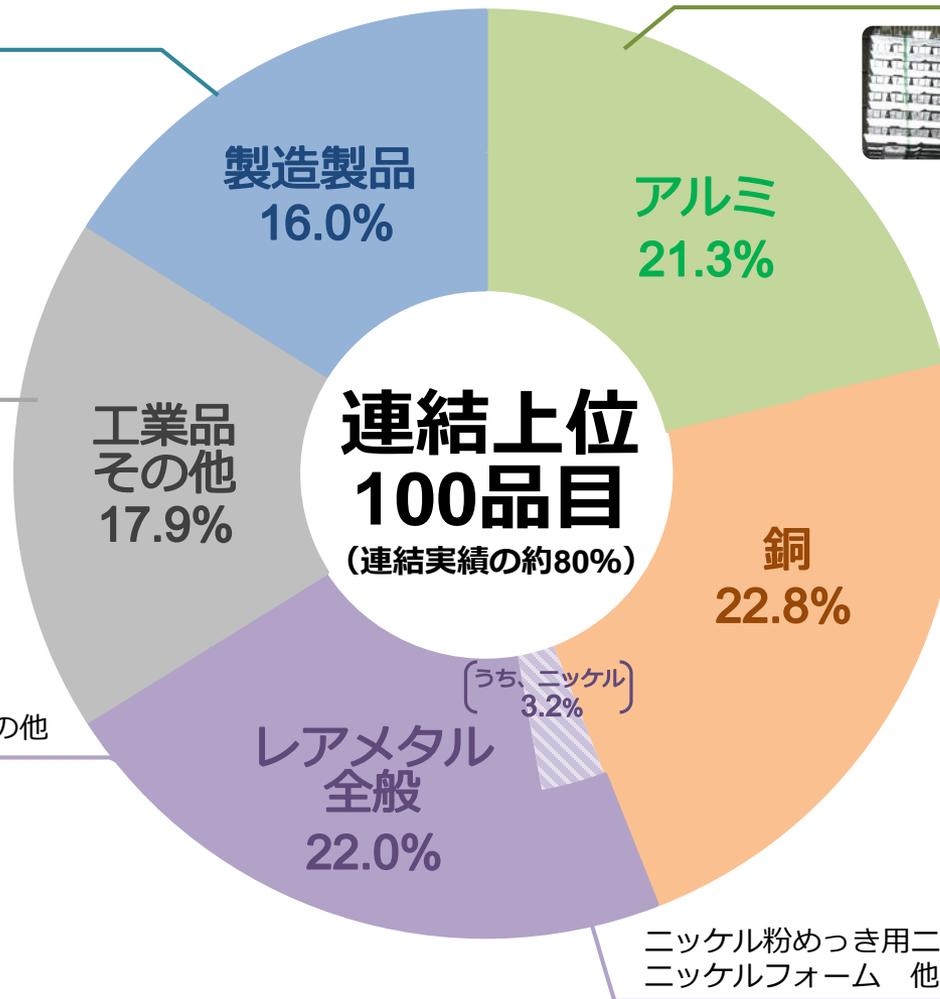
自動車用非鉄素材、
金属珪素、マグネシウム、亜鉛
バルブ部品、配管継手、建設材料



チタン、タングステン、モリブデン、
レアアース、ガリウム、インジウム、
コバルト、アンチモン、カドミウム、
バリウム、電子材料、機能材料 その他



アルミFIN、アルミ箔、管、条、板、CAN材
アルミ合金塊、屑、新塊、アルミ各種加工品 他



伸銅品 (管、板、条)
電気銅、半導体向け伸銅材料
黄銅棒、銅屑、電線
その他伸銅加工製品



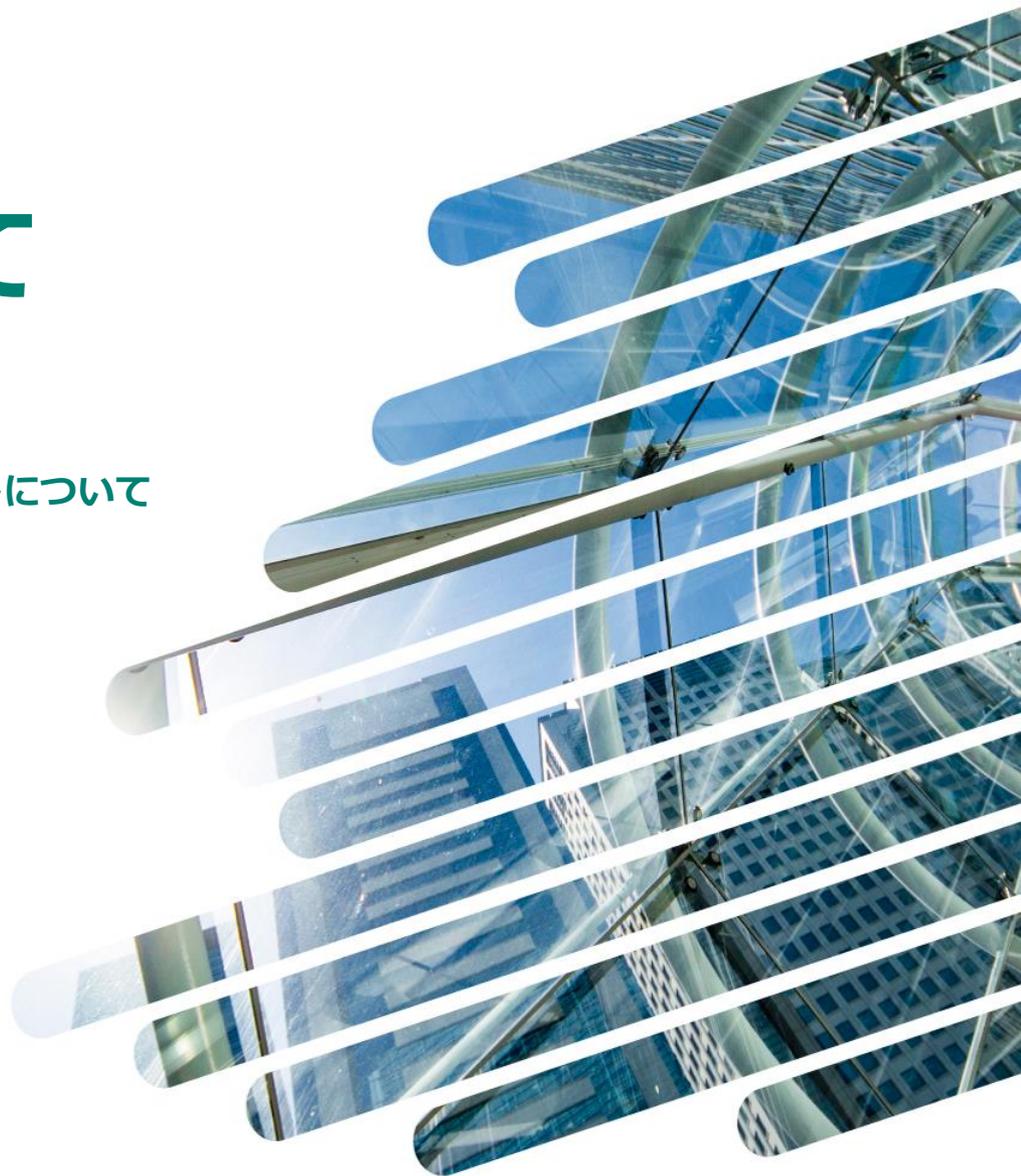
ニッケル粉めっき用ニッケル地金
ニッケルフォーム 他



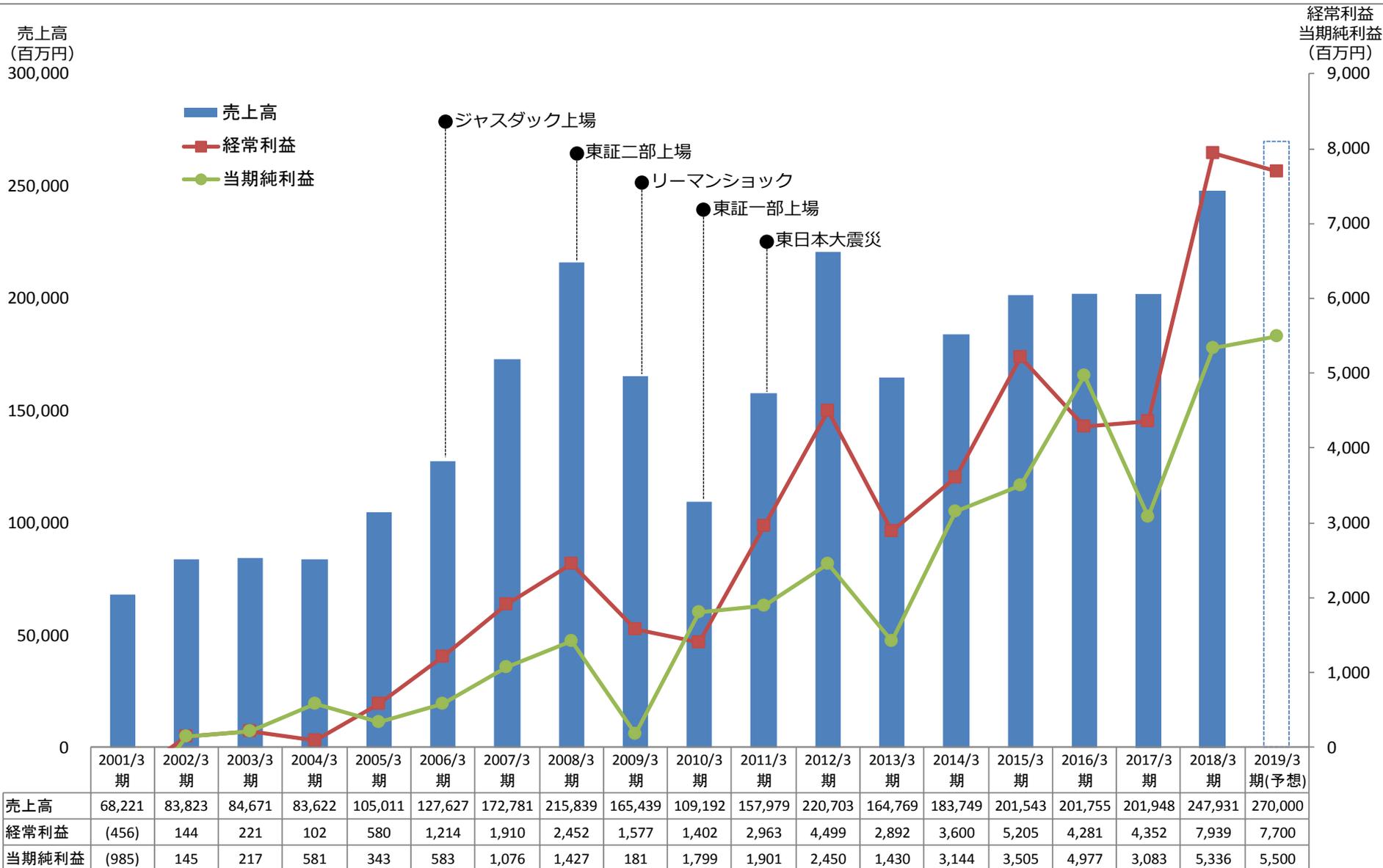
業績推移について

(連結経営成績)

直近の連結業績の推移および通期見通しについて

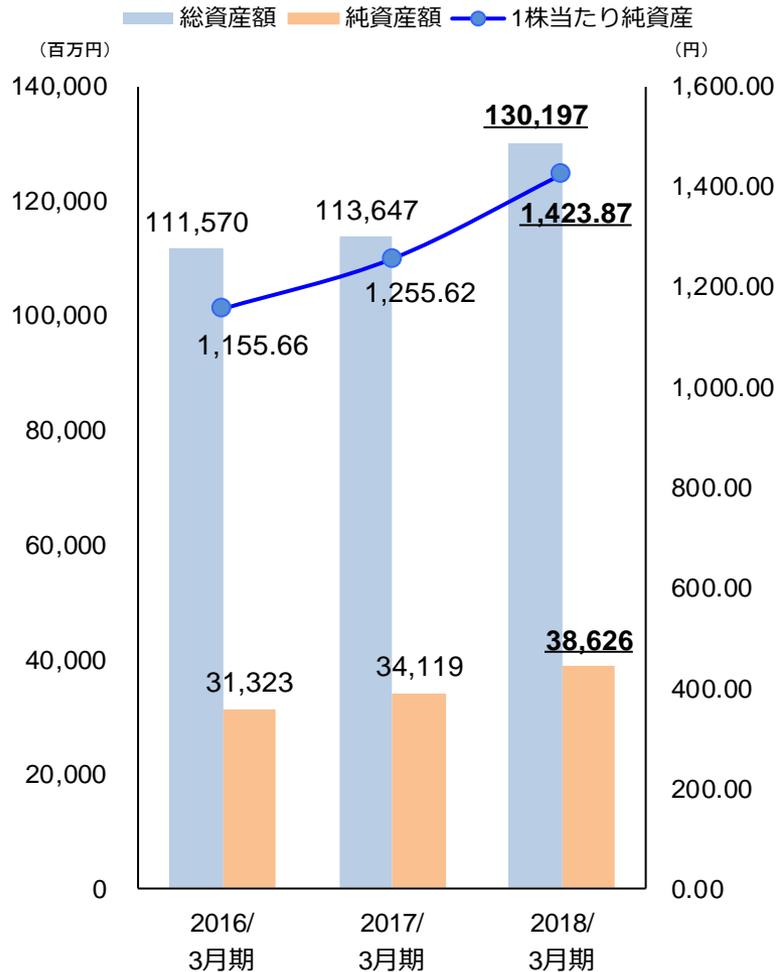


業績の推移 (連結 P/L)



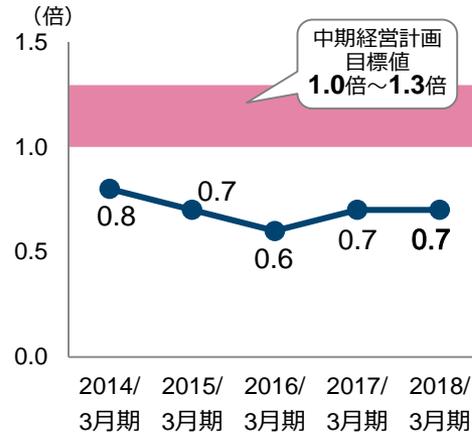
財務状況の推移 (連結 B/S)

総資産額、純資産額

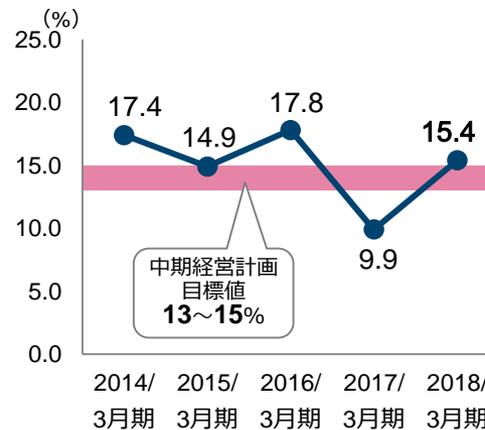


中計目標数値

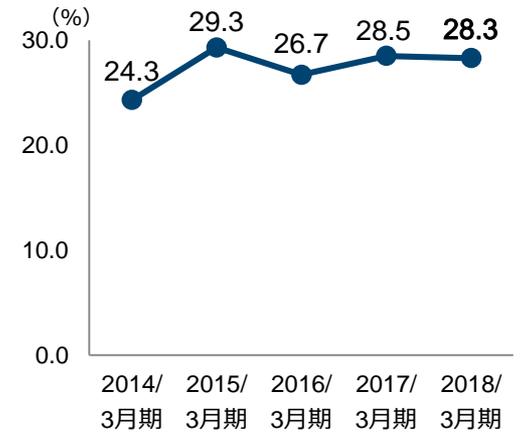
NET DEレシオ



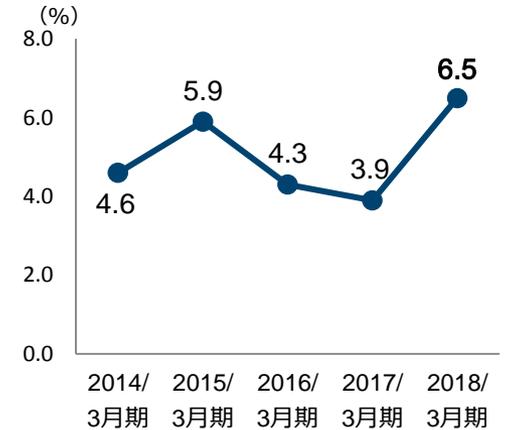
ROE



自己資本比率

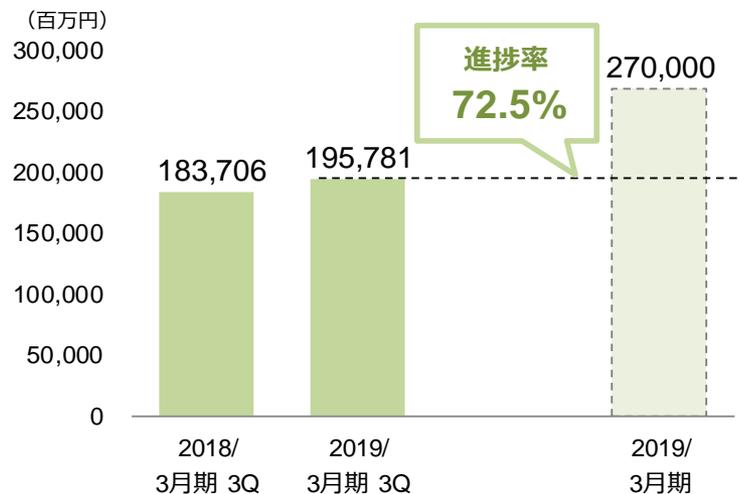


ROA (経常利益ベース)



直近の実績について (第3四半期)

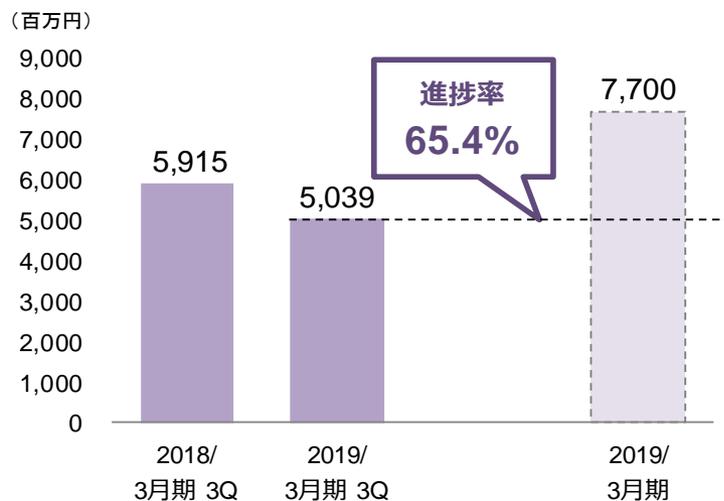
売上高



営業利益



経常利益



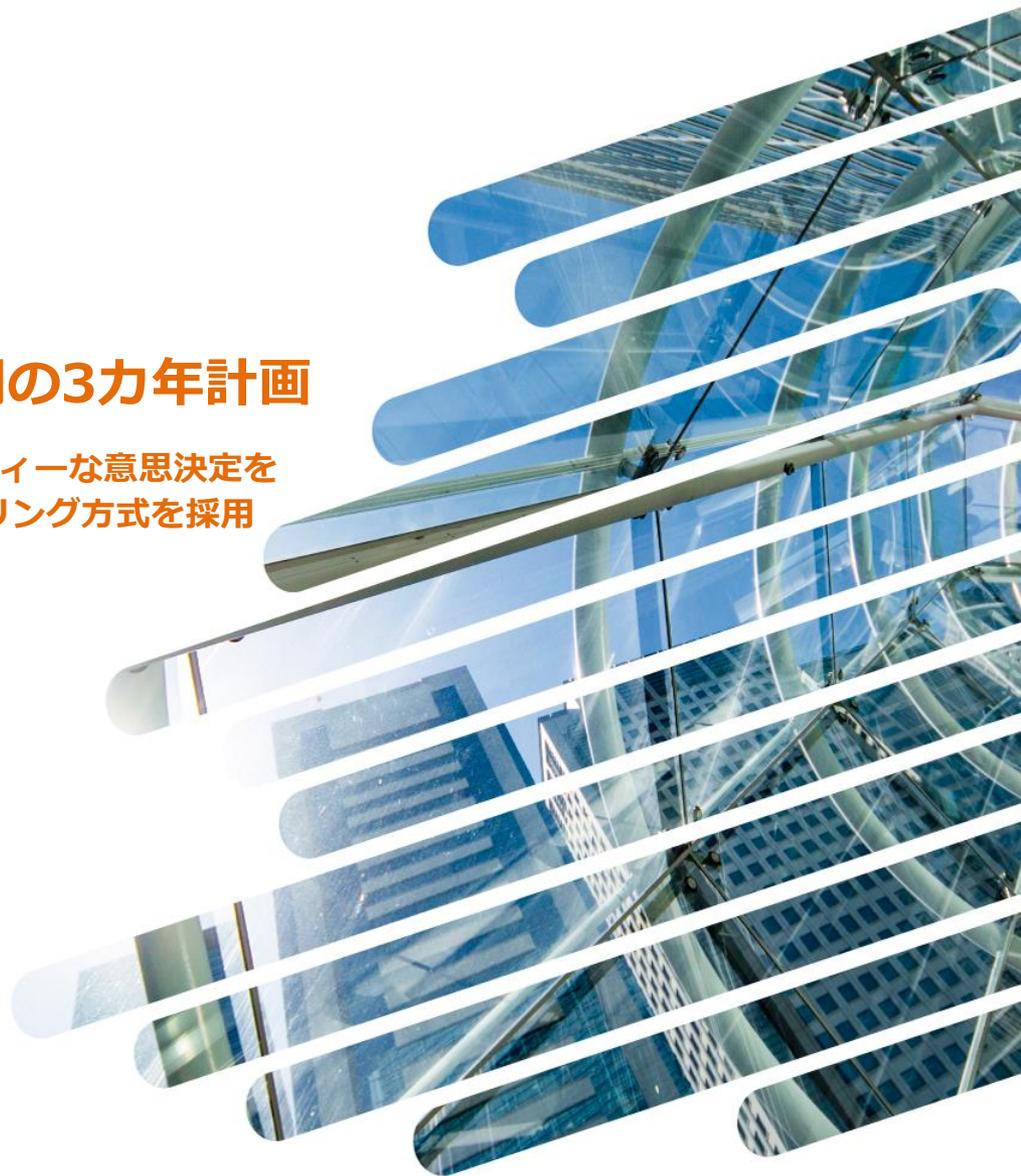
親会社株主に帰属する四半期純利益/1株当たり純利益



中期経営計画

2019年3月期～2021年3月期の3カ年計画

事業環境の変化に迅速に対応し、よりスピーディーな意思決定を
図るため、期間を3年とする1年毎更新のローリング方式を採用



アルコニックスグループのビジョン

商社機能と製造業を融合する「総合企業」を目指す

経営方針

- M&A／新規事業投資 ➡ 業容拡大と商流開拓による持続的成長
- 電子機能材 ➡ 日本が世界をリードする分野での更なる拡大
- アルミ銅 ➡ アルコニックスのルーツである商流の維持拡大
- リサイクル事業 ➡ 環境分野への対応強化
- 海外展開／地場取引・三国間取引 ➡ 海外ネットワークの拡充

5つのアクションプラン

営業収益力の強化

「商社機能と製造業のシナジー」
「電子材料分野」 「海外事業展開」

投資案件の推進

「製造業を中心としたM&A」
「事業投融資」 「設備投資」

財務体質の強化

「自己資本比率向上」
「資金流動性の確保と
資金コストの低減」

人的資源の強化

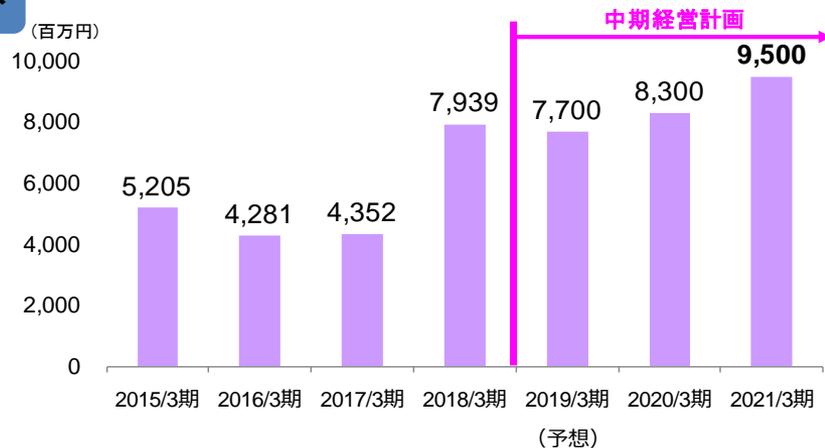
「優秀な人材の確保と
人材育成」

インフラ整備及び
内部統制の充実・強化

数値目標 (最終年度：2021年3月末)

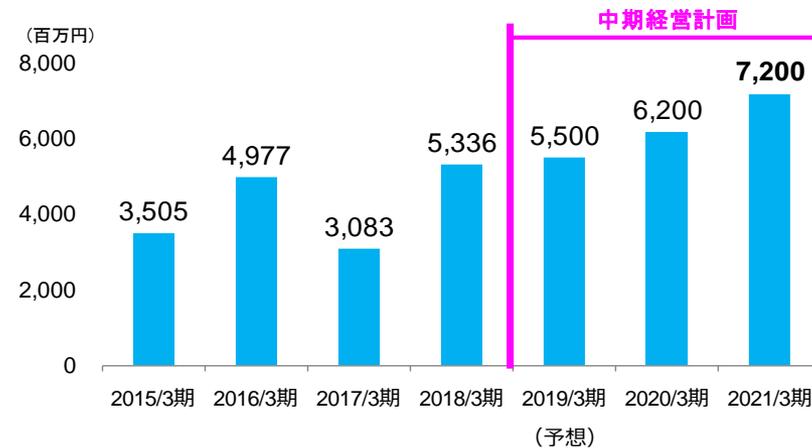
利益目標

連結経常利益：95億円超 (2021年3月期)



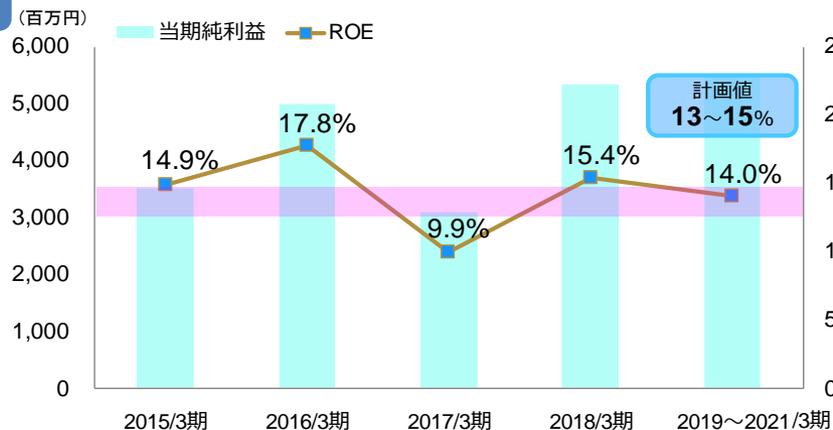
親会社株主に帰属する

連結当期純利益：72億円超 (2021年3月期)

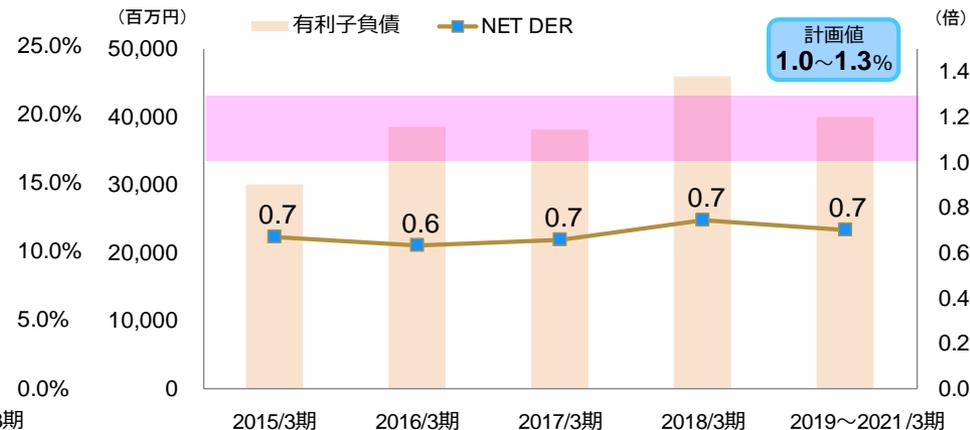


経営指標

ROE：13～15%程度 (2021年3月期)



NET DER：1.0～1.3倍程度 (2021年3月期)



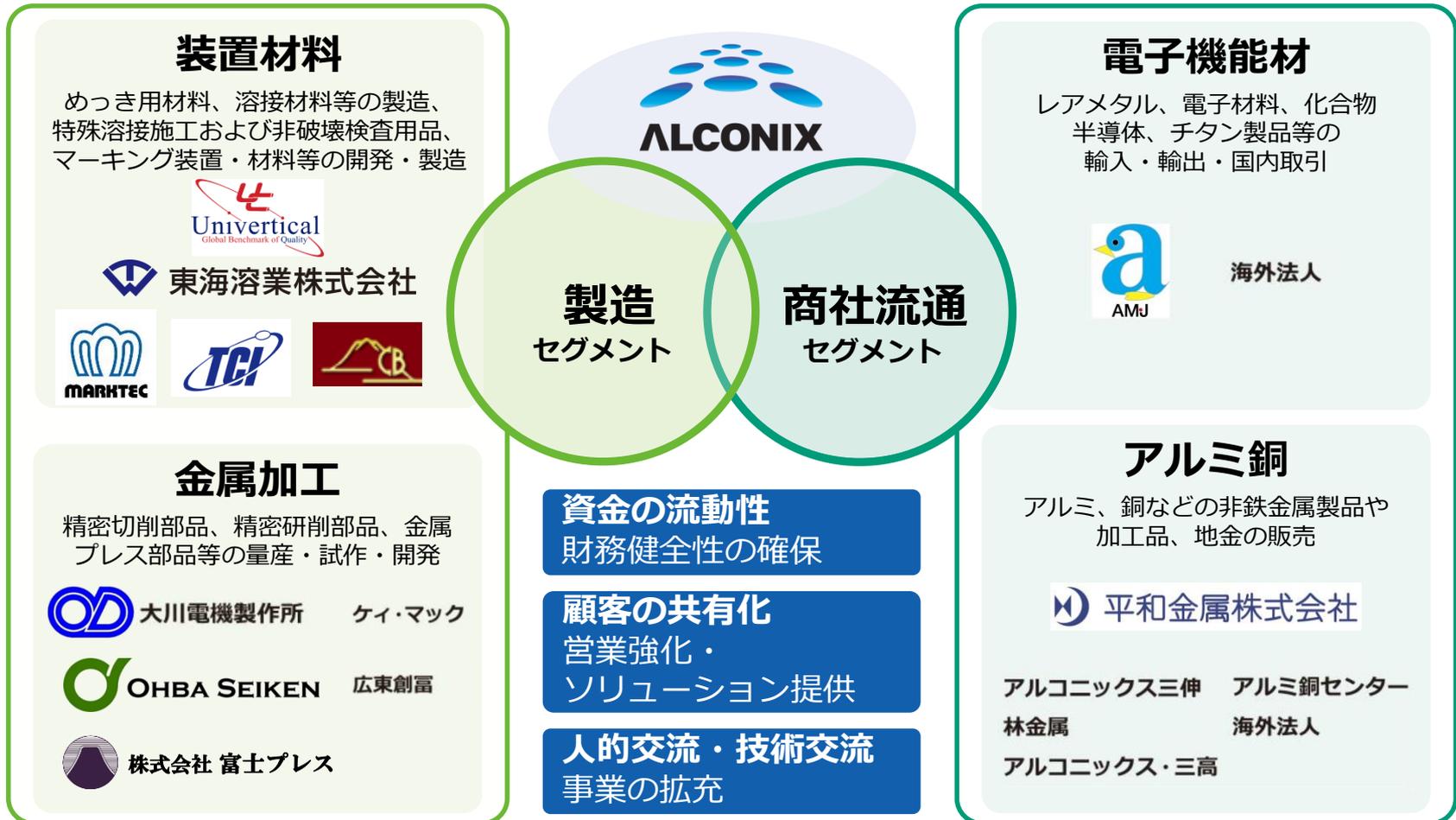
3年間で250億円

対象：M&A／事業投資／設備投資純増額 (設備投資－償却額)

▶詳しくは P24投資案件の推進

点から面へ

当社と、それぞれ単独で存在していた連結子会社を「面と面」で結び有機的な組織を構築することで生み出される「商社機能と製造業のシナジー」により営業収益力の飛躍的なアップを目指す。



営業収益力の強化 ② 電子材料分野

アルコニックス本体の電子機能材事業と連結子会社AMJがビジネス展開。

原料（レアメタル・レアアース）から製品（電子材料・機能性材料）までを網羅したビジネスを展開。

自動車、家電、半導体・IT分野と幅広い分野においてコア素材から環境対応材料まで多目的で使用される。

当社グループ取扱品

原料（輸入）

レアメタル
(30種類)



チタン/タングステン/モリブデン
インジウム 他

レアアース
(17種類)



ネオジム/ディスプロシウム
ランタン 他

中間製品（輸出・国内）

結晶材料



半導体材料



液晶・電池材料



その他金属粉末、機能材等



レアアース
レアメタル

自動車



環境性能向上

電装化



電池材料
液晶材料

スマホ・タブレット



通信機能向上

高解像度

容量アップ



液晶材料
化合物半導体

半導体製造設備・IT



大容量・高速化

自動車・家電の
エレクトロニクス部品



チタン
レアメタル合金

飛行機



軽量化・燃費向上

高強度・耐熱
耐摩耗性能アップ



機能材料
レアメタル

LED、機能性インク



省エネルギー

温暖化防止

その他環境性能向上

I o T ・ A I による半導体のスーパーサイクル

脱炭素化

営業収益力の強化 ③ 海外事業展開（商社流通業、及び製造業）

アルコニックス本体、連結子会社のAMJ、及び海外法人がエリア拡大推進。

海外ネットワーク



1 地場取引拡大

現地進出の日系企業及び
現地企業との地場取引拡大

上海法人の下に広州、深センに支店を設置し中国全土の販売網拡充

2 三国間ビジネスを拡大

海外店間の取引拡大

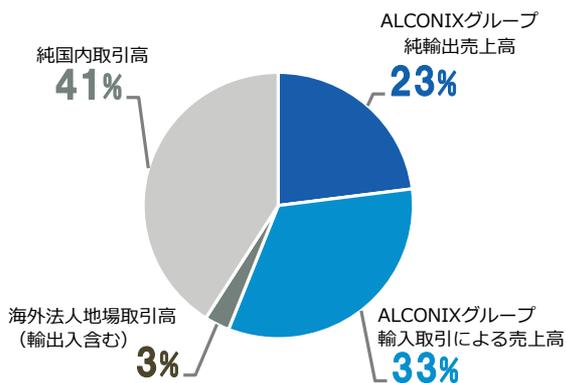
AMJのシンガポール法人がレアメタルを中心に海外取引を展開

3 海外拠点の拡大を展開

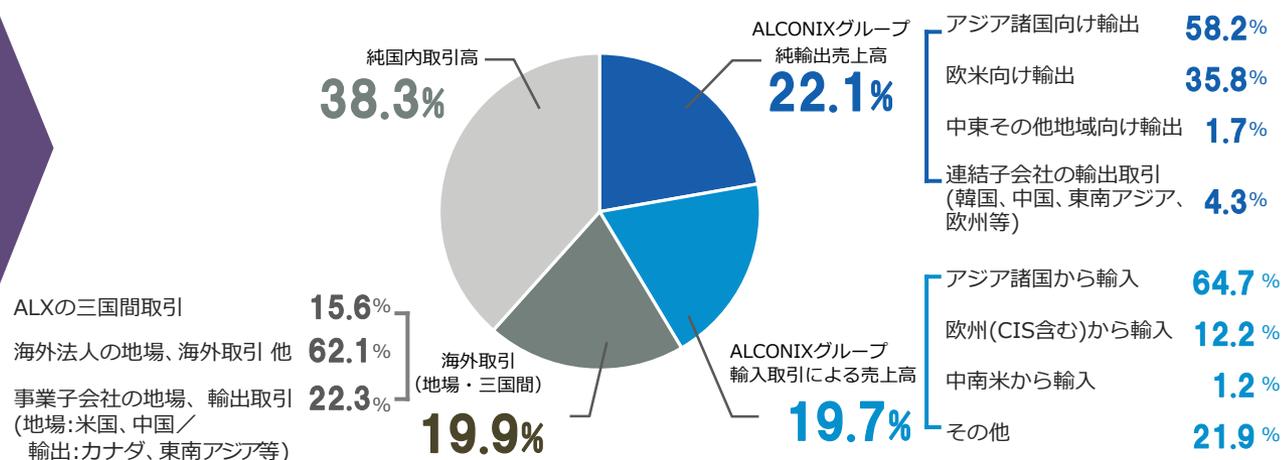
海外ネットワーク充実のためメキシコ・インドネシア・インドなどに拠点設立を検討

2018年4月に韓国法人設立、引続き他地域への海外法人設立を推進

形態別売上高比率（連結 2011年3月期）



形態別売上高比率（連結 2018年3月期）



基本方針

ニッチ分野でトップレベルの技術力を持つ企業をターゲット

- 3年間でM&Aを中心に

250億円の投融資を計画

- 投下資本経常利益率(ROIC) :

10%を目標

2018年度 計画

M&A

- ・ 製造業への出資、M&Aの推進
- ・ M&A先のPMI、製造子会社における設備拡張投資
- ・ 子会社の業容拡大に寄与する子会社自身によるM&Aも推進
- ・ 株式会社富士カーボン製造所のM&A、東北化工株式会社のPMI

事業投資 (投融資)

- ・ 海外でのベースメタル、レアメタルのリサイクル事業及びレアアースの資源開発事業への投融資

設備投資

- ・ 投資効率を優先した生産設備増設
(Univertical、大羽精研、大川電機、マークテック、富士プレス、東海溶業)

短期間での業容拡大に有効なM&A、新たな商流を創出するための金属加工・販売事業等への事業投資及びリサイクルを含む資源確保のための投資を重点施策として推進。

M&Aで獲得した主要連結子会社



■アドバンストマテリアルジャパン
(商社流通-電子機能材 2004年1月)



■平和金属
(商社流通-アルミ銅 2015年10月)



■UNIVERTICAL HOLDINGS INC.
(製造-装置材料 2012年12月)



■大羽精研
(製造-金属加工 2013年5月)

M&A実績 **17**件 (製造に対するM&A **8**件 商社流通に対するM&A **9**件)

直近トピックス

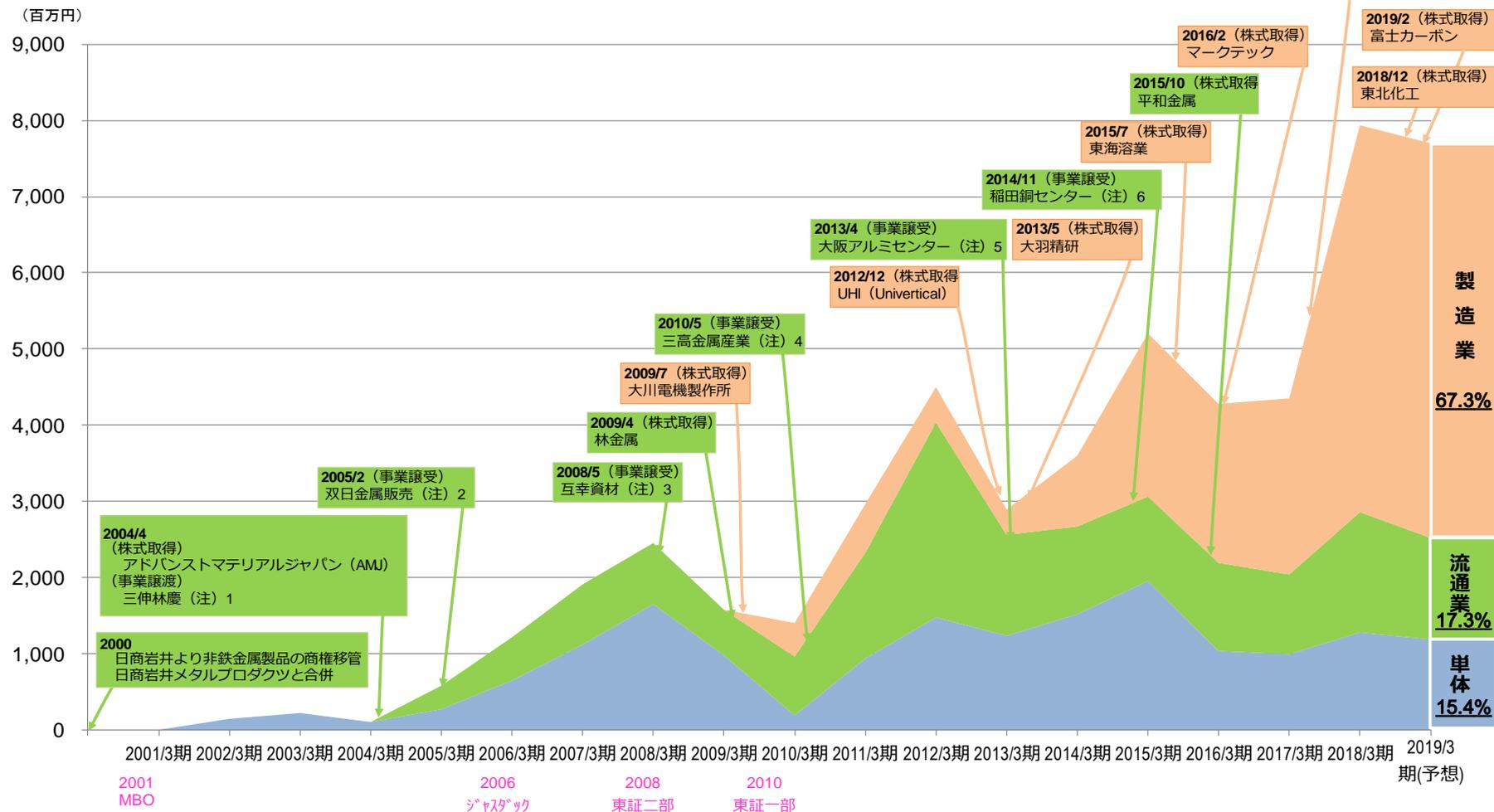
■東北化工の全株式を取得し連結子会社化

株式取得日 : 2018年12月25日
 所属セグメント : 製造-装置材料
 資本金 : 1.2億円
 直近実績 : 売上高17億円／経常利益1.3億円 (2018年3月末)
 ※同社の収益は2019年1月より取込開始



本社社屋

経常利益でみる事業構造の変化と成長(製造業が経常利益の過半を越える)



(注) 1 三伸林慶は事業譲受後、当社の三伸林慶部としてスタート。その後2008年に分社化し、アルコニクス三伸として独立。
 2 双日金属販売は当社非鉄原料本部材料部としてスタート。
 3 互幸資材はアルコニクス三伸によるM&Aで、後の札幌支店互幸資材営業部として設立。
 4 三高金属産業の事業譲受後、当社が設立したアルコニクス・三高に承継。

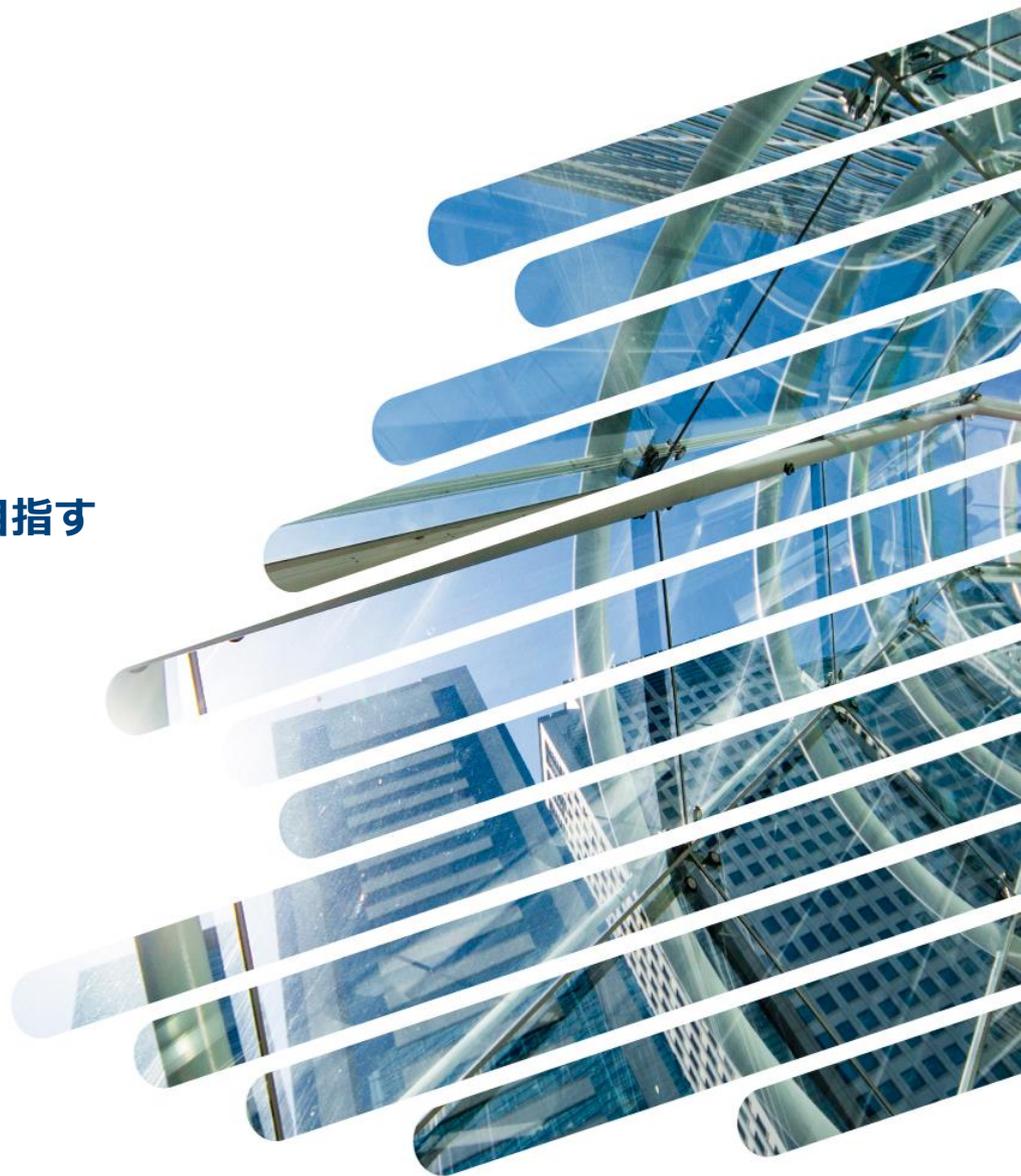
(注) 5 大阪アルミセンターは2014年に「アルミ銅センター」に社名変更。
 6 稲田銅センターの事業譲受後、アルミ銅センターの北九州支店として継承。
 7 「製造業M&A」には持分法適用関連会社を含む。
 8 2001/3月は単体のみで経常損失。

株式と株主還元

－株主構成及び配当額の予想について－

株主還元の基本方針

内部留保と配当の最適なバランスを目指す



株式状況（2019年3月期予想）

配当予想
配当実績

2019年3月期 期末配当予想を修正

2019年3月期配当予想 ※2019年2月19日発表

2018年9月
(中間配当) **19**円 + 2019年3月末
(期末配当予想) **20**円 ^{1円増配} = 年間 **39**円

自己株式

2019年2月19日 自己株式取得を決定

目的 株式価値の向上と一層の株主還元

概要

- 取得する株式の総数： 740,000株（上限）
- 株式の取得価額の総額： 8億円（上限）
- 現在の発行済株式数： 25,882,200株（2018/12末現在）
- 上限まで取得した場合の当社自己株式比率： 2.9%
- 一株当たり当期純利益：
従来予想の212.51円から218.76円にアップ
（2019/3期予想数値を元に算出）

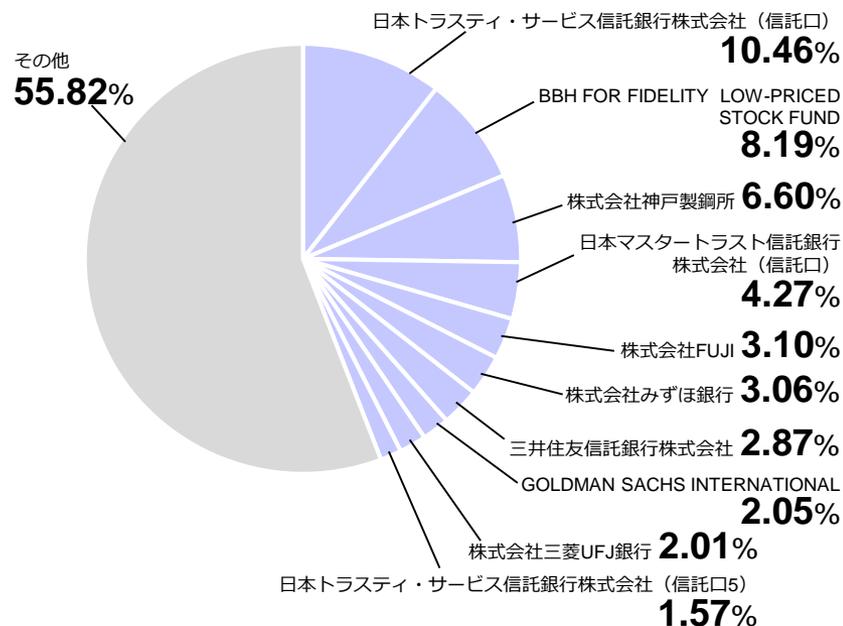
株主構成

所有者別株式分布状況

(2018年9月30日現在)

区分	株式数	比率	株主数	比率
金融機関	8,333,200	32.20%	26	0.45%
証券会社	634,444	2.45%	40	0.70%
その他法人	5,591,060	21.60%	76	1.32%
外国法人 (うち外国個人2,800)	4,856,879	18.77%	88	1.53%
個人その他	6,465,586	24.98%	5,511	95.98%
自己名義株式	1,031	0.00%	1	0.02%
合計	25,882,200	100.00%	5,742	100.00%

※上記株数は単元未満のみの株主分単元未満株式を含む



株主名簿

(2018年9月30日現在)

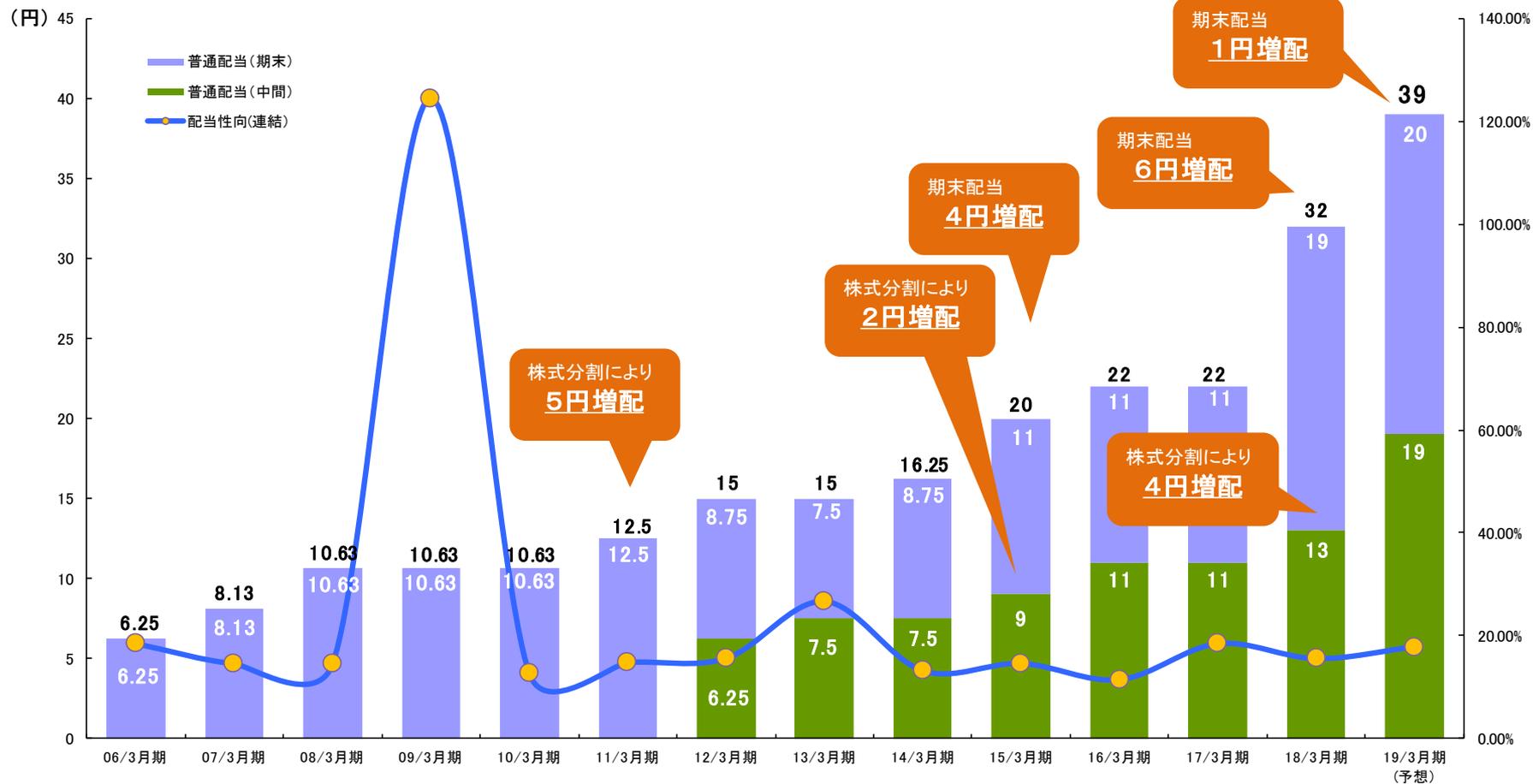
区分	株式数	比率
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	2,706,000	10.46%
BBH FOR FIDELITY LOW-PRICED STOCK FUND	2,120,300	8.19%
株式会社神戸製鋼所	1,707,200	6.60%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	1,106,100	4.27%
株式会社FUJI	801,200	3.10%
株式会社みずほ銀行	792,000	3.06%
三井住友信託銀行株式会社	744,000	2.87%
GOLDMAN SACHS INTERNATIONAL	531,699	2.05%
株式会社三菱UFJ銀行	520,000	2.01%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口5)	406,800	1.57%
その他	14,446,901	55.82%
合計	25,882,200	100.00%

- (注) 1 富士機械製造株式会社は2018年4月1日、株式会社FUJIに社名変更されました。
 2 株式会社三菱東京UFJ銀行は2018年4月1日、株式会社三菱UFJ銀行に社名変更されました。
 3 持株比率は、自己名義株式(1,031株)を控除して計算しております。

株主還元 - 配当額、配当性向の推移

※ 株式分割履歴

2010/8 2014/9 2017/9



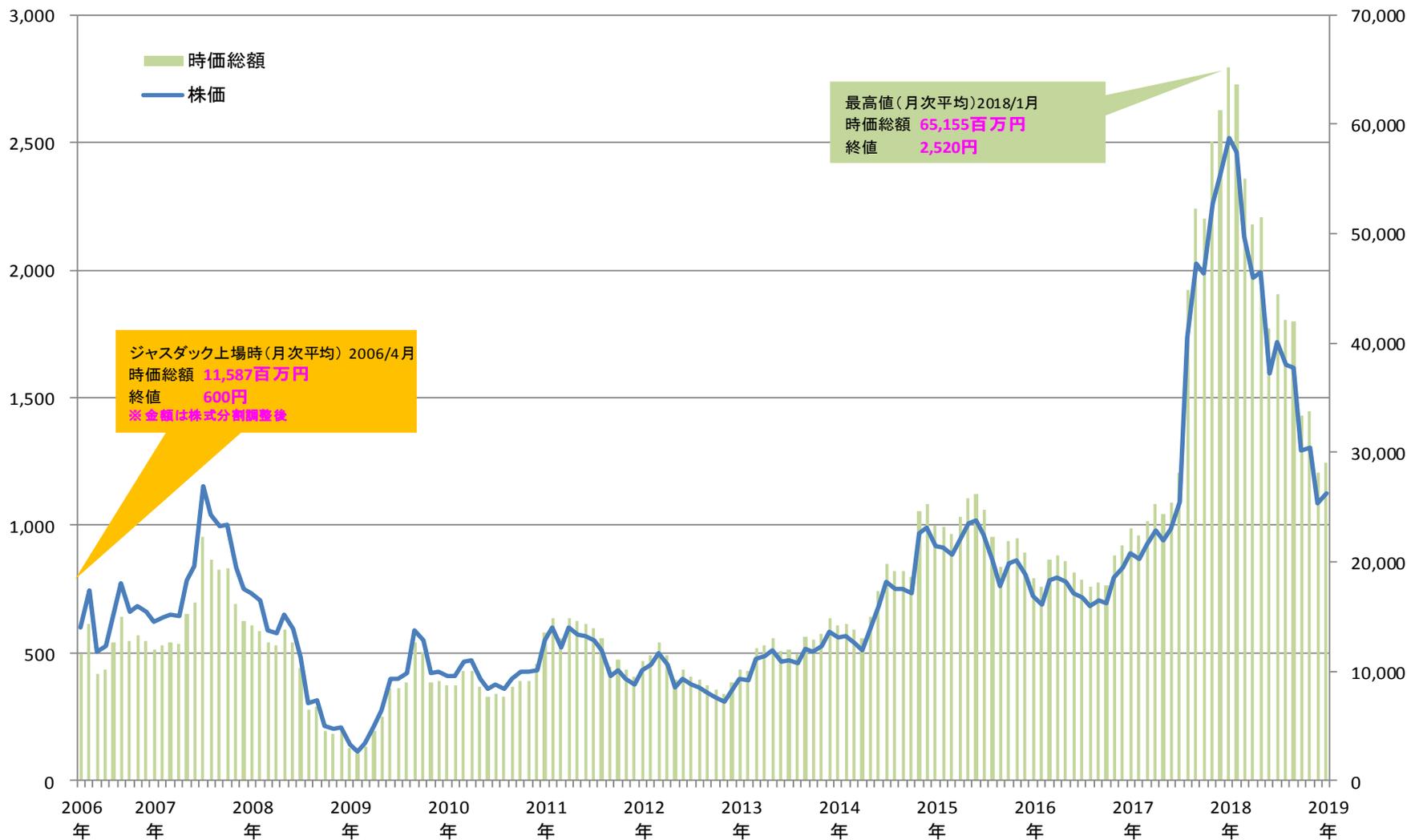
配当性向
(連結)

18.4%	14.5%	14.5%	124.5%	12.6%	14.7%	15.6%	26.6%	13.1%	14.6%	11.4%	18.4%	15.5%	17.8%
-------	-------	-------	--------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------

(注) 1. 2019年3月期は配当予想数値である。

(注) 2. 当社は、2017年9月1日付で当社普通株式1株につき2株の割合をもって株式分割を行ったため、2017/3期以前については当該株式分割を考慮した数値としている。

株価 2006年4月～2019年1月



(注) 1. 調整後終値及び時価総額については月平均の金額を表示。
2. 調整後終値については過年度に実施した株式分割を加味した額に調整。

株主優待制度の導入

株主優待制度を開始します。

株主の皆様の日頃からのご支援に感謝するとともに、当社株式への投資魅力を高め、より多くの皆様に中長期的に当社株式を保有していただくため、次のとおり「株主優待制度」を設けました。

株主優待の内容

保有株式数	保有期間	1年以上 3年未満継続保有	3年以上継続保有
	1 単元 (100株) 以上 10 単元 (1,000株) 未満		優待カタログギフトコース (2,000円相当) から好きな商品を 1点選択していただきます
10 単元 (1,000株) 以上		優待カタログギフトコース (3,000円相当) から好きな商品を 1点選択していただきます	優待カタログギフトコース (3,000円相当) から好きな商品を 2点選択していただきます

贈呈時期

毎年6月下旬の発送を予定しております。



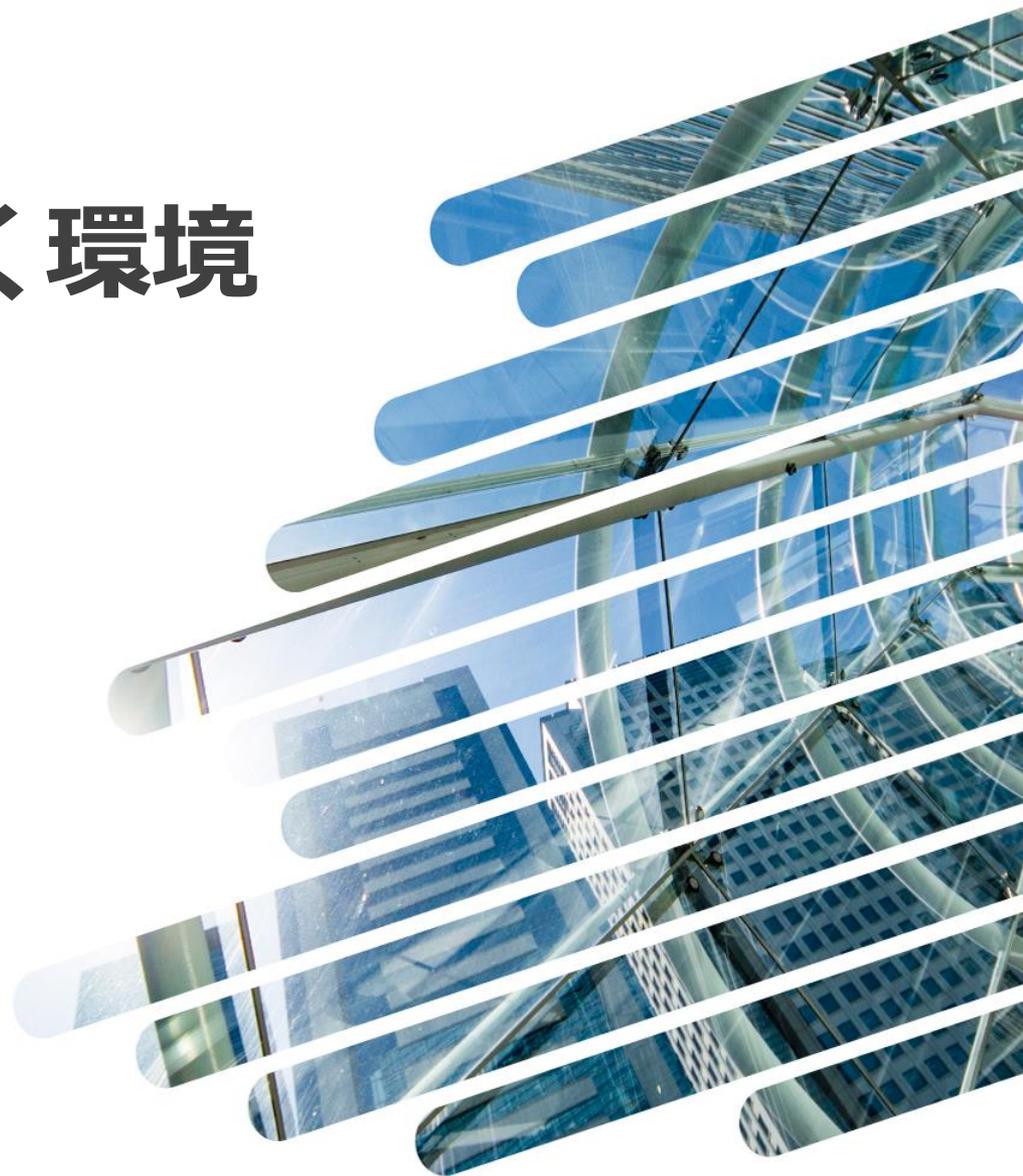
対象となる株主様

- 毎年3月末日現在の株主名簿に同一株主番号で記載又は記録された株主様を対象といたします。
- 長期保有条件は3年以上とし、毎年3月31日現在の株主名簿に同一株主番号で連続して4回以上記録または記載されていることといたします。

株主優待制度の開始時期

平成31年3月31日現在の当社株主名簿に記載又は記録された、上記の「対象となる株主様」に該当する株主様を対象として開始いたします。

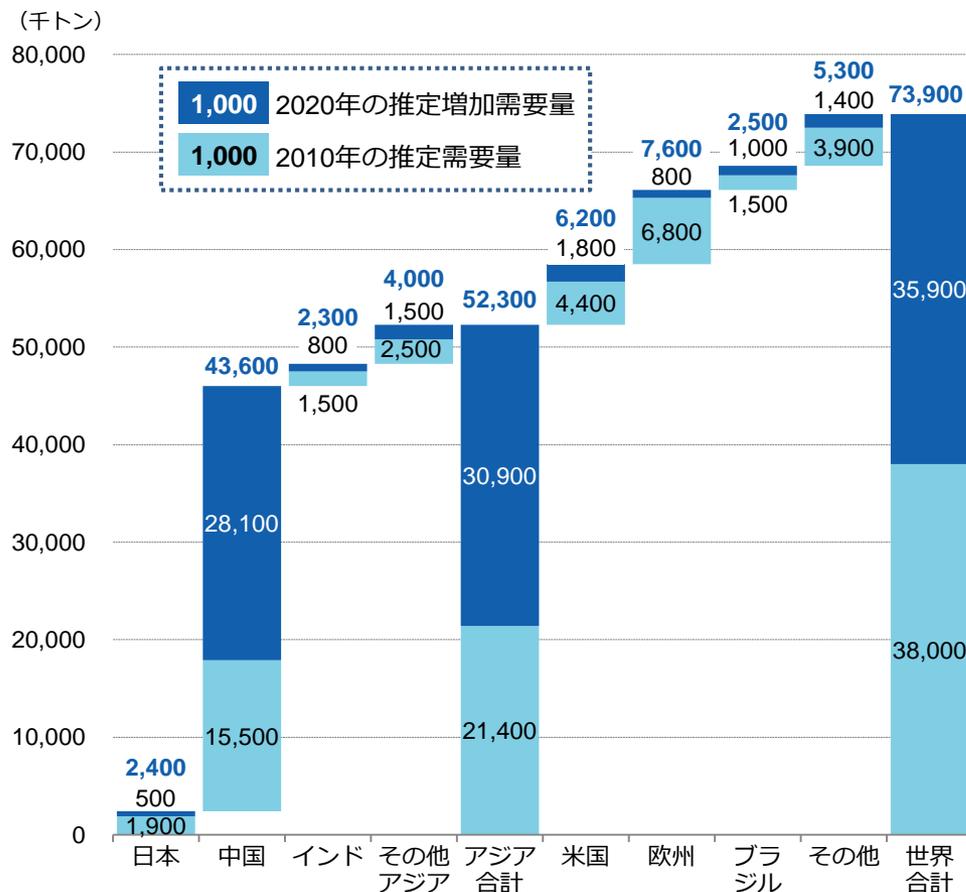
非鉄金属を取巻く環境 (参考資料)



ベースメタルの需要推移

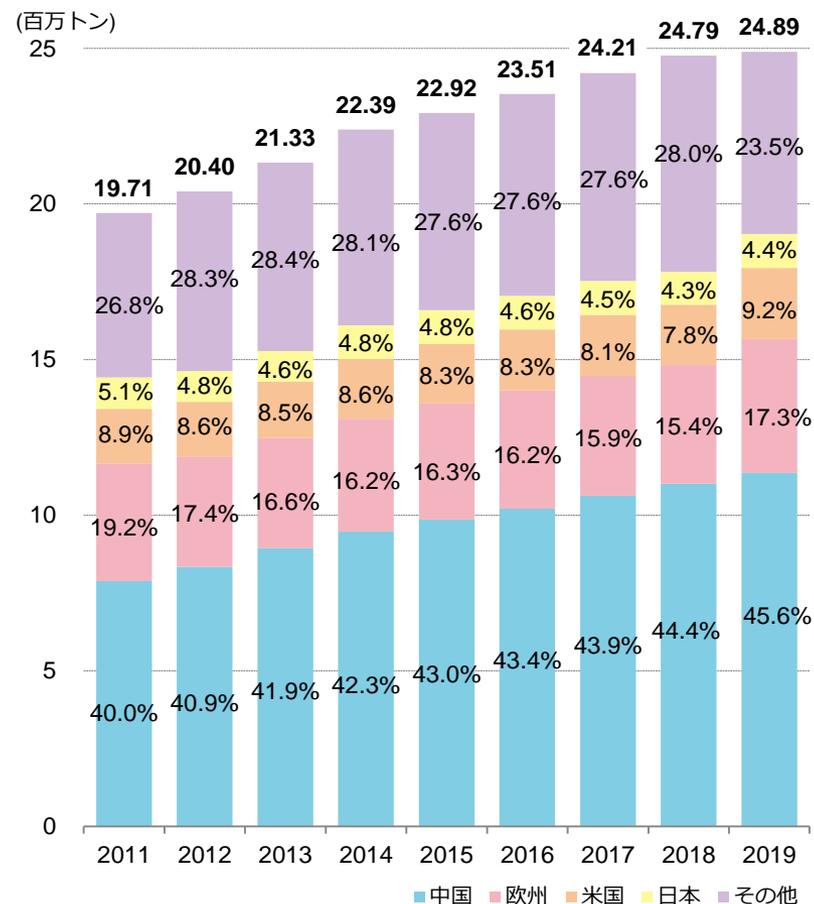
アルミ・銅の需要は、世界的には今後も増加傾向。

【アルミの世界需要予測（2010～2020年）】



1. 出所:日本アルミニウム協会
2. その他アジアはASEAN及び韓国

【銅の世界需要予測（2011～2019年）】

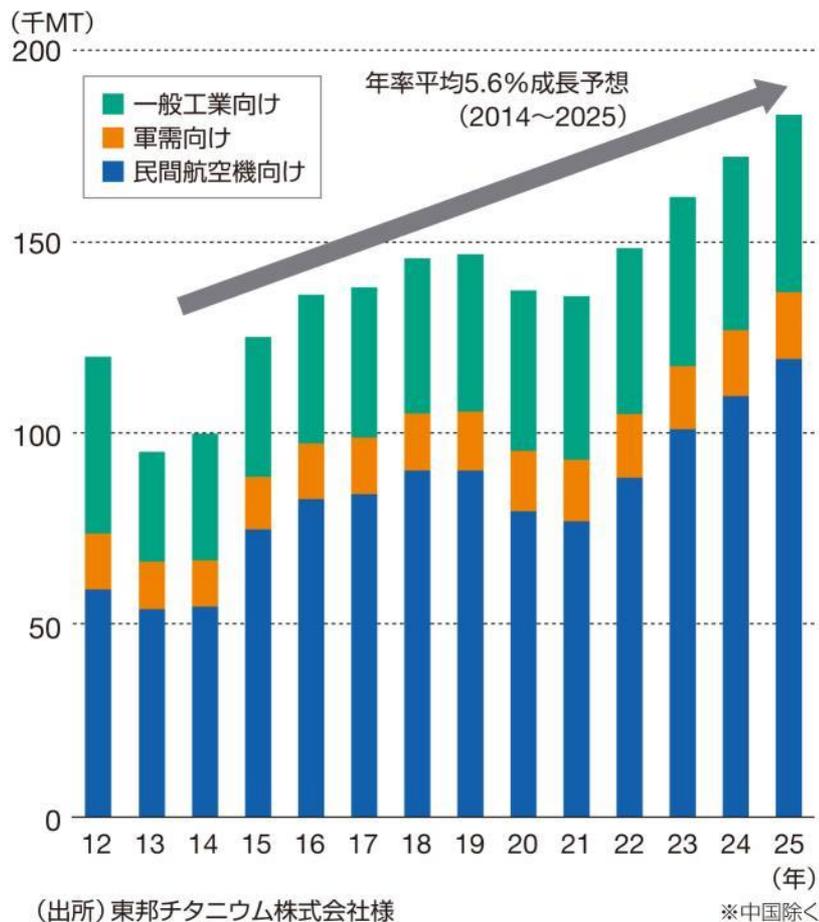


(出所) ICSG

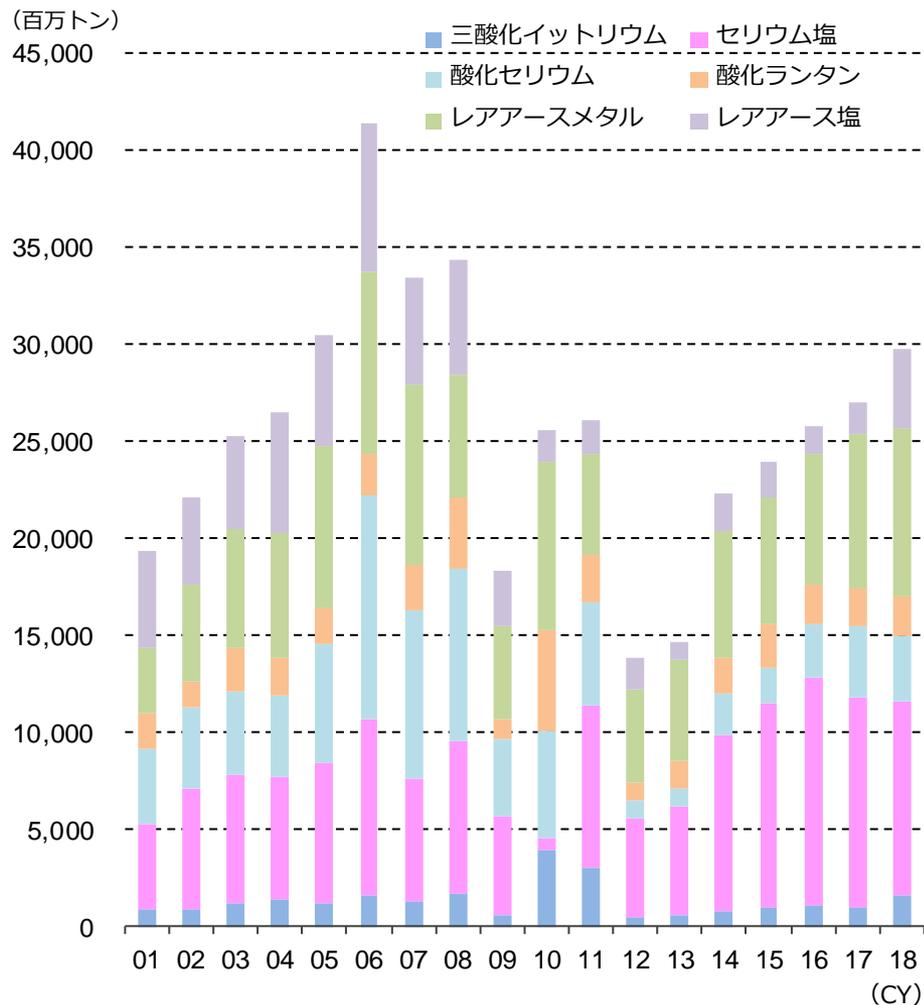
レア金属の需要推移

【チタンスポンジ中長期需要予測】

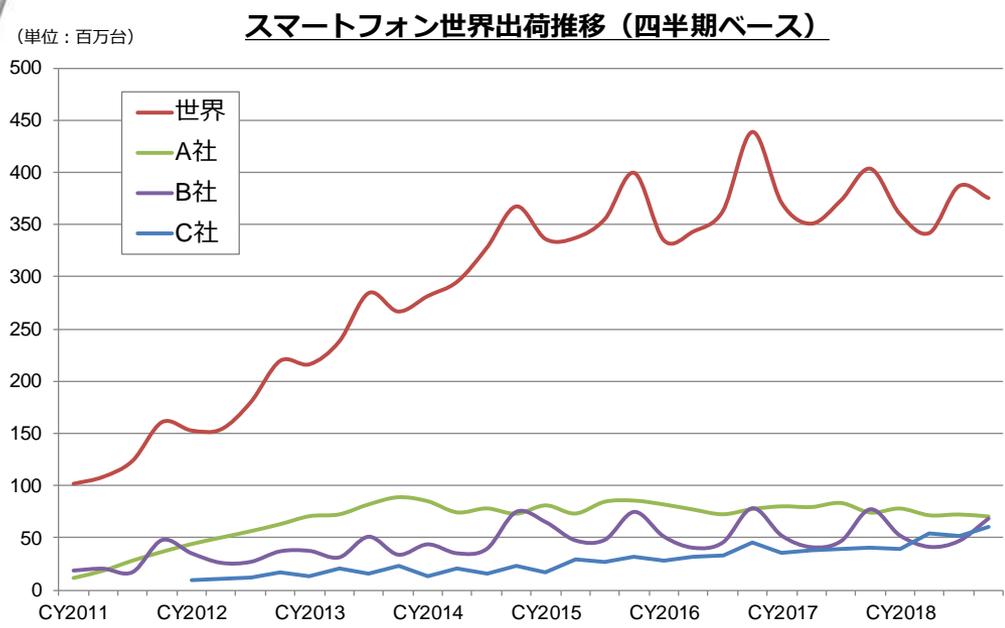
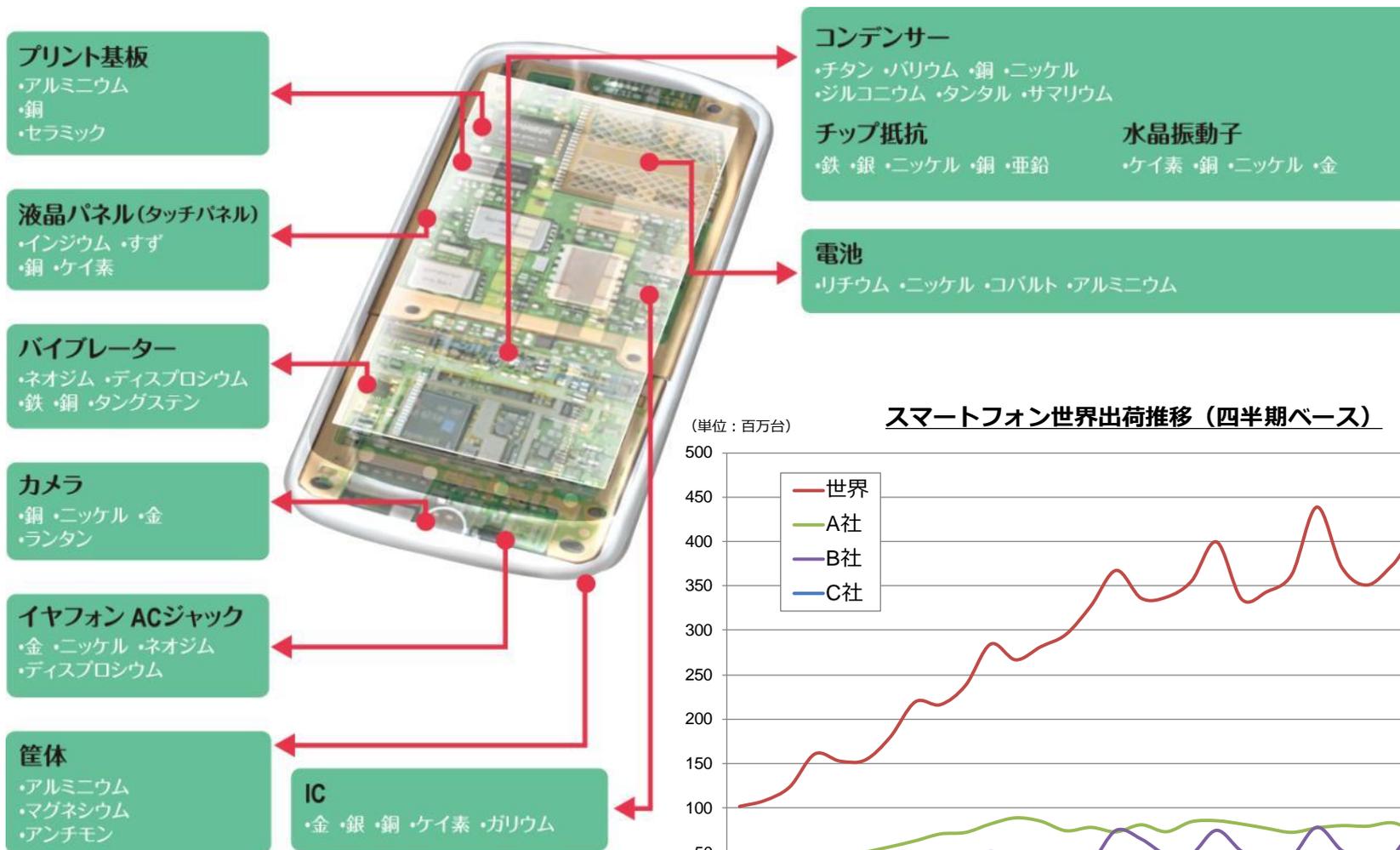
航空機向けを中心に堅調な伸びを予測



【レアアースの輸入推移】



非鉄金属の活躍が拡大するスマートフォン



加速する軽量化・IoT化

車載用モーター

(スターター、パワステ、
パワーウィンドウ、ワイパー、
シートアジャスト等)

- 銅
- ネオジウム
- バリウム
- ストロンチウム

エンジンルーム、 ラジエター

- アルミニウム
- 銅
- 亜鉛

駆動モーター (ハイブリッドカー)

- ネオジウム
- ディスプロシウム
- アルミニウム
- 銅

ホイール

- アルミニウム
- マグネシウム

パイプ類

- 銅

ボディ、内装、電装品

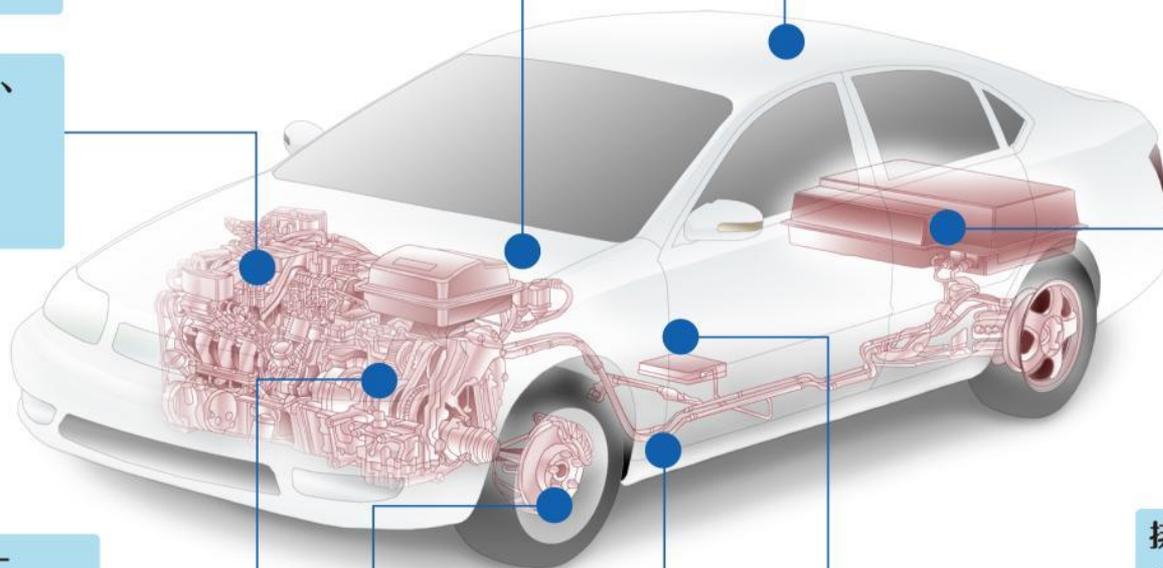
- アルミニウム
- 銅
- 亜鉛
- モリブデン
- アンチモン

車載用電池 (ハイブリッドカー)

- ニッケル
- リチウム
- コバルト
- ランタン

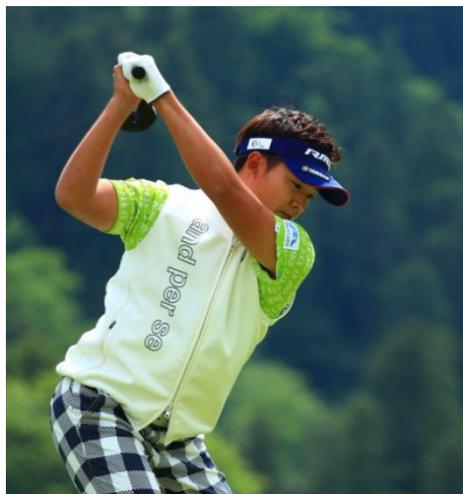
排ガス浄化装置(触媒)

- プラチナ
- パラジウム
- セリウム
- ロジウム
- ランタン



当社はプロゴルファー 今平 周吾選手の挑戦を応援しています。

アルコニックスは、未来を担う若手アスリートである今平 周吾選手と2017年よりスポンサー契約を締結し、挑戦をサポートしています。



今平 周吾選手は2018年ゴルフ国内男子ツアーの賞金王に輝き、国内ゴルフレギュラーツアー昇格からわずか4年でトップに上り詰めました。

また、2019年4月には海外メジャー初戦となる「マスターズ」（ジョージア州オーガスタナショナルGC）へ特別招待枠で初出場することが確定いたしました。

グローバル展開を進める当社と共に、今平プロへのご声援を、宜しくお願いいたします。

アルコニックス公式 ホームページのご紹介

<http://www.alconix.com/jp/index.html>



投資家情報

財務状況等の内容をグラフにて分かりやすく説明しております。また各種資料、決算短信、有価証券報告書等もダウンロードできます。



決算動画配信

各四半期ごとに弊社社長による決算及び見通しをトップインタビュー形式で解説する動画を配信しています。



- IRに関するお問い合わせ
電子メール：
ir@alconix.com
電話：
03-3596-7400

本資料は当社をご理解いただくために作成されたもので、当社への投資勧誘を目的としておりません。本資料を作成するに当たっては正確性を期すために慎重に行っておりますが、完全性を保証するものではありません。本資料中の情報によって生じた障害や損害については、当社は一切責任を負いません。本資料中の業績予想ならびに将来予測は、本資料作成時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。そのため、事業環境の変化等の様々な要因により、実際の業績は言及または記述されている将来見通しとは異なる結果となることをご承知おきください。

